



あつま

9月定例会号

No. 196

令和6年11月発行

議会だより



10月5日
イオン環境財団と厚真町
によるサクラの植樹会

第3回定例会	2～5
第5回臨時会	6
国に意見書	6
委員会活動レポート	
総務文教常任委員会	7
産業建設常任委員会	8
北海道胆振東部地震復興特別委員会	9
新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会	10
一般質問「ここが聞きたい」	11～17
折坂泰宏、橋本 豊、伊藤富志夫、澤口千里、三國和江、秋永 徹、寺坂康生7氏が問う	
令和6年度議会議員町内行政視察	18
研修会レポート（町村議会議員研修会、議会広報研修会）	19～20
議決案件（賛否状況）	20～21
議会のうごき、スポーツ少年団紹介（上厚真バドミントンスポーツ少年団）	22

9月定例会

第3回定例会が9月17日、18日に開催され、行政報告、所信表明、同意2件、7人の議員による一般質問のほか、議案11件、承認2件、報告7件、認定6件、意見書1件を審議し可決した。

また、議会から閉会中の総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、北海道胆振東部地震復興特別委員会、新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会の事務調査の報告がされた。



藤本 昭子 氏

厚真町表彰条例により、藤本昭子氏を自治功労賞表彰することに同意した。経歴は、6ページに掲載。

**同意第2号
自治功労賞表彰について**



再任 日西 大介 氏

厚真町教育委員会委員に日西大介氏を任命することに同意した。

**同意第1号
厚真町教育委員会委員の任命**

**議案第1号
厚真町いきいきサポートサロン条例の一部改正**

改正の目的

介護保険制度に位置づけられる地域支援事業による住民主体の様々な介護予防・生活支援サービス資源を構築するため。

改正期日

この条例は、公布の日から施行する。

**議案第2号
厚真町国民健康保険条例の一部改正**

改正内容

急患等として保険医療機関又は保険薬局を受診した被保険者に係る保険料の納付については、徴収猶予期間を6箇月以内の期間から最長1年以内の期間に改正。

施行期日

この条例は、令和6年12月2日から施行する。

**議案第3号
厚真町穀類乾燥調整貯蔵施設改修工事請負契約の締結**

契約の目的

厚真町穀類乾燥調整貯蔵施設改修工事

契約の方法

指名競争入札

契約金額

2億5905万円

契約の相手方

株式会社サタケ

議案第4号

令和6年度町道幌内左岸線道路改良舗装工事請負契約の締結

契約の目的

令和6年度町道幌内左岸線道路改良舗装工事

契約の方法

指名競争入札

契約の金額

1億3772万円

契約の相手方

北辰・野沢・厚信特定建設工事共同企業体

**議案第5号
町道軽舞豊丘線官光橋架替工事(下部工)請負契約の締結**

契約の目的

町道軽舞豊丘線官光橋架替工事(下部工)

契約の方法

指名競争入札

契約金額

9526万円

契約の相手方

北辰・沼田経常建設共同企業体

議案第6号

財産の取得

財産の名称

財務会計システム

規格等

メインサーバー 1台

財産の種類

動産(物品)

取得方法

随意契約

取得金額

4620万円

取得の相手方

北海道市町村備荒資金組合

**議案第7号
財産の取得**

財産の名称

学校給食センター厨房機器

規格等

三槽シンク 6台

米サイロ 1台

財産の種類

動産(物品)

取得の方法

指名競争入札

取得金額

1980万円

取得の相手方

株式会社 まこと商事

議案第8号

令和6年度厚真町一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算の総額に

歳入歳出それぞれ821

6万円を追加し、歳入歳

出予算の総額を117億

962万円とした。

詳細は、4ページに記載。

議案第9号
令和6年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ28万円を追加し、歳入歳出予算の総額を6億2098万円とした。

理由

国庫支出金等返還金

議案第10号
令和6年度厚真町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ923万円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億1103万円とした。

理由

後期高齢者医療広域連合保険料等負担金

議案第11号
令和6年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算(保険事業勘定補正予算(第3号))

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3814万円を追加し、歳入歳出予算の総額を6億26

48万円とした。

理由

国庫支出金等過年分返還金等

承認第1号
専決処分の承認
令和6年度厚真町一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4997万円を追加し、歳入歳出予算の総額を116億2746万円とした。

理由

1 令和6年8月27日の降雨による施設被害の復旧等を行うため。

2 高齢者グループホームやわらぎの修繕に伴う介護保険事業特別会計への繰出しのため。

承認第2号
専決処分の承認
令和6年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算(介護サービス事業勘定補正予算(第2号))

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ178万円を追加し、歳入歳出予算の総額を4753万円とした。

理由

高齢者グループホームやわらぎ火災報知設備の誤作動によるスプリンクラー配管の漏水により、天井及びスプリンクラー設備並びに電気設備の修繕のため。

報告第1号
所管事務調査報告(各常任委員会)

詳細は、7、8ページの委員会活動レポートに記載。

報告第2号
委員会調査報告(各特別委員会)

詳細は、9、10ページの委員会活動レポートに記載。

報告第3号
財政援助団体等に関する監査の結果報告

監査の結果
監査した結果、各団体に交付された補助金等は適正に処理され、適切に執行されているものと認められた。

監査実施団体及び財政的援助等の種目
単位：円

厚真町交通安全推進委員会	交通安全推進委員会補助金	5,700,000
厚真町新農業者育成協議会	新農業者育成協議会活動補助金	53,446
あつま新鮮組	あつま新鮮組運営補助金	590,000
グリーンツーリズム運営協議会	グリーンツーリズム運営協議会活動補助金	395,000
田舎まつり運営実行委員会	田舎まつり運営実行委員会運営費補助金	11,765,000
厚真産ハスカップブランド化推進協議会	厚真産ハスカップブランド化推進協議会活動事業補助金	1,921,800
厚真町スポーツ少年団連絡協議会	スポーツ少年団連絡協議会補助金	900,000

報告第4号
定期監査の結果報告

監査の結果
施設及び備品の管理状況、財務事務の執行状況、工事の執行状況及び現地の状況について監査した結果、適正であると認められた。

報告第5号
現金出納例月検査の結果報告

監査委員から令和5年度5月分と令和6年度5、7月分現金出納例月検査結果の報告があった。

報告第6号
教育委員会の事務事業の点検評価報告

教育委員会から第4次厚真町総合計画及び厚真町教育振興基本計画に揚げる施策のうち、学校教育グループ・学校給食センター所管の3事業と社会教育グループ所管の3事務事業についての内部評価・外部評価をとりまとめ、報告書の提出がされた。

認定第1号
令和5年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定

認定第2号
令和5年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

認定第3号
令和5年度厚真町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

認定第4号
令和5年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

認定第5号
令和5年度厚真町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

認定第6号
令和5年度厚真町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

認定1号、6号については、決算審査特別委員会を設置して審議することとした。
委員長 橋本 豊
副委員長 伊藤 富志夫
意見書案第1号
国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

詳細は、6ページに記載。

一般会計補正予算(抜粋)

8216万円を追加し、歳入歳出予算の総額が
117億962万円となる。

農業施設等災害復旧事業

補正額 600万円
農業農村整備G

補正の目的

令和6年8月27日の大雨により農業施設等に被災された方に対し補助金の交付等、緊急に必要な措置を実施するため、「災害復旧事業特別要綱」を制定し、被災者の生活安定及び生産基盤の早期復旧を図る。

事業の概要

- 対象事業
総事業費が10万円以上の事業が対象
農業施設等、農道橋、農用地及び用排水施設、農道の復旧事業
- 事業主体 厚真町土地改良区
- 事業費50万円未満 補助率 75%
事業費50万円以上100万円未満 補助率 85%
事業費100万円以上 補助率 90%

財源内訳

一般財源 600万円

河川災害復旧事業(単独災)

補正額 800万円
土木G

補正の目的

令和6年8月27日の大雨により河川施設が被災した箇所の補修および緊急対応。

事業の概要

河岸補修、河川土砂埋塞除去、倒木箇所の対応に係る費用。普通河川本郷の沢川ほか9箇所

財源内訳

一般財源 800万円

避難所設備整備事業

補正額 1400万円
情報防災G

補正の目的

指定避難所の空調設備を整備し、避難時における生活環境を改善し機能向上を図る。

事業の概要

対象施設

- ア. 鹿沼マナビィハウス
- イ. 豊沢マナビィハウス
- ウ. ルーラルマナビィハウス
- エ. 桜丘生活会館 オ. 幌里生活会館
- カ. 本郷マナビィハウス
- キ. 厚北地域防災コミュニティセンターならやま

財源内訳

地方債 1400万円

道路橋梁災害復旧事業(単独災)

補正額 1500万円
土木G

補正の目的

令和6年8月27日の大雨により道路橋梁施設が被災した箇所の補修および緊急対応。

事業の概要

道路法面補修、道路排水施設補修、道路冠水箇所の対応に係る費用。町道本郷通り線ほか24路線

財源内訳

一般財源 1500万円

河川災害復旧事業(公共災)

補正額 720万円
土木G

補正の目的

令和6年8月27日の大雨により河川施設が被災した箇所の公共災害申請に伴う測量調査委託を目的とする。

事業の概要

河川施設災害復旧申請に伴う測量調査委託費。
ハビウ川8箇所、チケッペ川 1箇所

財源内訳

一般財源 720万円

空き家等対策推進事業

補正額 400万円
都市施設G

補正の目的

新規就農者等からの空家等利活用資金貸付金の申し込みに応えることで、市街化調整区域等における空家の有効活用と移住・定住者の居住の安定を図る。

事業の概要

- 補正内容
貸付金新規申込み1件 融資希望額 400万円
- 制度内容
(1) 融資限度額 400万円 (2) 利息 無利子
(3) 償還期間 20年間(貸付日の翌月から償還開始)
(4) 償還額の減免 10年以上定住した場合は償還額の1/2を免除

財源内訳

一般財源 400万円

スクールバス運行管理費

補正額 513万円
学校教育G

補正の目的

スクールバスの運行において、安定した運行管理、将来的な人員体制の確保・充実を目的として、民間事業者への運行業務委託を拡充する。

事業の概要

- 1 委託路線等
(1)豊沢・フォーラム線 予算額 381万円
(2)臨時便(学校行事等)48回 予算額 132万円
- 2 委託内容
(1)人件費(スクールバスは既存車両を貸与)
(2)管理経費(燃料、車検、消耗品)
- 3 委託開始時期(予定)
令和6年10月1日から

財源内訳

一般財源 513万円

起業推進事業

補正額 256万円
経済G

補正の目的

起業に向けた取組みを支援するため起業時における開業経費等の必要な経費の負担を軽減することにより、新たな起業への取組みを奨励し、それをもって地域経済の活性化を図る。

事業の概要

起業家支援事業

- (1)補助対象者
ア. 起業を予定している者または起業後3年経過していない者
イ. 厚真町内に住所を有している個人または本社所在地を厚真町内に置く法人
- (2)補助率 1/2以内
- (3)補助限度額 合計200万円(空き店舗を活用の場合250万円)

財源内訳

一般財源 256万円

行政報告

○8月27日の大雨による公共施設及び農業施設等の被害について

道路・河川などの公共施設については、道路が路肩崩壊などで25箇所、河川が河岸決壊などで21箇所、合計で46箇所の被害がありました。

農作物の状況は、浸水・冠水等が確認された農作物の面積は187畝で、内訳は水稲146畝、豆類、てん菜等の畑作物で31畝、飼料作物で5畝、露地野菜・施設園芸で5畝でした。また、エゾシカ侵入防止柵に7350mの倒壊がありました。農作物の被害金額は約7400万円と見込んでおります。農業施設では、法面崩壊等の農地損壊が17件、用排水路等の損壊が95件、農道の損壊が27件、その他5件で、被害金額は約4120万円と見込んでいます。

○農作物の生育状況について
不稔率は、冷害危険期も高温傾向で推移し、「ななつばし」で3.8%程度と、過去5年平均値から2.5%低くなっています。8月27日の大雨により、河川が氾濫し収穫不能のほ場が発生した地区や冠水、倒伏が見られるほ場があるなど、収穫作業に苦慮することや品質の低下も懸念されます。

○損害賠償請求控訴事件の判決について
本件は、茨城県日立市の木材製造会社が原告となり、当町及び赤平市の木材製造会社を相手に損害賠償を求めて訴訟提起されたものであり、年内には三審判決が言渡される見込みであります。

○車検切れ公用車の運行について
公用車1台について、車検期間が満了していたにも関わらず、19日間運行・使用していた事実が判明しました。

所信表明

1 胆振東部地震災害からの復旧・復興と新たな防災対策
○復旧・復興の推進

- 新たな防災対策
- 2 豊かな食の付加価値と生産力の向上
- 農業農村の振興
- 水産業・林業の振興
- 3 北海道に吹く新しい風を成長の力に
- 商工業の振興
- 企業誘致、起業支援と雇用機会の確保
- 観光・交流の促進
- 4 人が輝く・健やかで安心な地域社会
- こども・子育て支援の充実と住民の健康づくり
- 高齢者福祉・介護、障がい者福祉の充実
- 生涯学習の充実
- 5 新しい風をまちのリデザインに生かす
- まちづくり人材の育成
- 都市計画と住環境、ゼロカーボンの推進
- 6 DX・GXがもたらす暮らしや経済への新しい風
- 庁舎周辺等整備と公共施設のGX
- 7 みんなの笑顔が広がるあつまをつくる
- 住民自治の推進
- 行財政運営の健全化

第5回臨時会

7月22日開会

議案第1号
林業専用道（規格相当）
幌里チケツペ線開設工事
請負契約の締結

契約の目的

林業専用道（規格相当）

幌里チケツペ線開設工事

契約の方法

指名競争入札

契約金額

6671万円

契約の相手方

丸斗・佐藤経常建設共

同企業体

議案第2号

上厚真地区配水管布設
工事請負契約の締結

契約の目的

上厚真地区配水管布設

替工事

契約の方法

指名競争入札

契約金額

6699万円

契約の相手方

木本・佐藤経常建設共

同企業体

議案第3号
令和6年度厚真町一般会
計補正予算（第5号）

歳入歳出予算の総額に
歳入歳出それぞれ435
7万円を追加し、歳入歳
出予算の総額を115億
7749万円とした。
主な事業は、物価高騰
経済対策事業ほか。

○自治功労賞表彰 藤本 昭子氏の公職歴等

厚真町婦人団体協議会会長（H17～R6）
厚真町婦人団体協議会副会長等（H8～H17）
まちづくり委員（H18～H28）
社会教育委員（H13～H29）
社会教育委員兼公民館運営審議会委員（H11～H13）

国に意見書を提出 1件を可決

第3回定例会において「国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書」が提出され、可決されました。

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

北海道は、豊かで美しい自然環境に恵まれ、広大な大地と海に育まれた豊富で新鮮な食を強みに我が国の食料供給地域としての役割を担うとともに、特有の歴史・文化や気候風土などを有しており、これらの独自性や優位性を生かしながら、将来にわたって持続可能な活力ある北海道の実現を目指している。

しかしながら、本道の道路を取り巻く環境は、高規格道路におけるミッシングリンクをはじめ、自然災害に伴う交通障害、幹線道路や通学路における交通事故、道路施設の老朽化など、多くの課題を抱えている。

これらの課題を解消し、「食」や「観光」に関連する地域が持つ潜在力を最大限発揮させるためには、平常時・災害時を問わない安定した物流や、広域周遊観光を支える道路ネットワークが必要不可欠である。加えて、積雪寒冷地である本道では、安定した除排雪体制の確保など、冬期間の住民の安全・安心を確保することが必要である。

そのため、地方財政が依然として厳しく、また資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも、道路整備・管理に必要な予算を安定的に確保することが重要である。

よって、国においては、本年発生した能登半島地震や切迫する日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震を踏まえ、高規格道路から市町村道に至る道路網の整備や老朽化対策など、国土強靱化の取組をより一層推進するため、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 賃金水準などの上昇も加味した上で、山積する道路整備の課題に対応していくため、新たな財源の創設及び必要な予算を確保すること。
- 2 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進はもとより、その後も切れ目なく継続的・安定的に取組を進めるため、国土強靱化実施中期計画を令和6年内の早期に策定し、必要な予算・財源

を別枠で確保すること。

- 3 人流、物流の活性化に向けた高規格道路におけるミッシングリンクの解消や、高規格道路と直轄国道の連携によるダブルネットワークの構築、暫定2車線区間の4車線化や耐震補強等の機能強化など、国土強靱化に資する災害に強い道路ネットワーク整備を推進すること。
- 4 国土強靱化の事業計画等に基づく橋梁、トンネル等の老朽化対策を推進し、予防保全による道路メンテナンスへ早期に移行するため、維持管理・更新事業に必要な技術的支援の拡充や予算を長期安定的に確保すること。
また、近年の異常気象により、積雪寒冷地においては、凍結融解の繰り返しによる舗装の損傷が著しいことから、これに対応する制度の創設や財政支援の充実・強化を図ること。
- 5 冬期交通における安全性の確保、通学路などの交通安全対策、無電柱化の推進など、地域の暮らしや経済活動を支える道路の整備や管理の充実を図ること。
- 6 災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局及び各開発建設部の人員体制の充実・強化を図ること。
- 7 準用河川改修の事業要件緩和、小規模河川改修に対応した財政、技術支援制度の創設など、「流域治水」の取組に必要な財政支援を更に強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和6年9月17日

厚真町議会議長 渡部 孝樹

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣
財務大臣、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣

委員会 レポート

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会（伊藤富志夫委員長）は、8月7日に現地調査1件と事務調査3件を行い、その結果を第3回定例会に報告しました。



「ともいき荘」



「やわらぎ」

【現地調査】
「やわらぎ」、「ほんごう」、「ともいき荘」の3施設

【事務調査】

【事務調査】
第2期厚真町健康増進計画「健康あつま21」について

・計画の趣旨

3つの計画（健康増進計画、食育推進計画、命を支える計画）を一体化し、近年の社会経済環境の変化に対応する。

・施策の展開

分野別（食生活・運動・睡眠・歯・こころ・喫煙・飲酒・生活習慣病・介護）に課題・方向を示す。自殺分野は別途、3重点を示し対応。

問 住民健診の効果は。がん検診の受診率が高いが発見率に結びついてくるか。

答 悪性新生物の死亡率平均は、道平均より町平均の方が低いので効果があるともっている。

問 自殺の関係だが、過去5年で2名という事だが、前段階での対策は。答 健診の場でこころの

アンケートを取り組むが、受診者のみになるので、ゲートキーパー養成講座など地域の中で気づきが出るように講座を開いている。

【「やわらぎ」、「ほんごう」、「ともいき荘」の運営状況について】

・「やわらぎ」

令和5年度より株式会社社エムリンク札幌による運営。

事業実績は、収支差額は前年より小増、利用状況の平均介護度減、令和6年3月待機者30人。

・「ほんごう」

令和5年度より株式会社社エムリンク札幌による運営。

事業実績は、差額は前年より増額、利用状況はほぼ同数、サービスクトの利用実績は通い・訪問はほぼ同数、泊りが減。

・「ともいき荘」

令和5年度より株式会社社エムリンク札幌による運営。

収支差額は小増、利用

状況は定員20人中18人。

問 高齢者グループホームの実績で、平均年齢が高くなっているのに、平均介護度が下がっているのはどうして。

答 グループホーム内で看取りのケアをさせていただいて、介護度は高くて看取りの場合平均介護度が下がる場合がある。

問 収入と支出の差額はどうか。

答 指定管理者制度ということで、指定管理事業者の方に入っていく。

問 小規模多機能でお風呂の不都合が長く続き、苦情も来ていたが。

答 承知していたが、先だつての臨時会で補正をさせていただいた。当時の担当から現状使えるという報告があったが、職員内でしっかり情報共有をして判断すべきであった。現在、設備の確認を取り急ぎ行っている。

ふるさと納税（返礼品の特徴、寄付金の使い道の順位、費用内訳等）について

問 自分の商品を返礼品にしたい場合の手続き等はどうか。

答 町の方で返礼品の提供、事業者さんの募集はしていない。委託業者で提供、受付をしている。ただ総務省で7月申請、10月登録がある。

問 委託料で中央コンピュータサービスやエーゼログループ厚真支社への委託料は。

答 令和5年度分ではエーゼロが1239万525円、中央コンピュータサービスが、764万5573円。

問 配送料、広告料はどうか。

答 配送料6370万円、広告料は386万7000円。

委員会 レポート

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会（橋本豊委員長）は、8月1日に現地調査2件、事務調査3件、8月26日に道内現地調査1件を行い、その結果を第3回定例会に報告しました。

【現地調査】

富里浄水場

平成30年北海道胆振東部地震により被災した施設は、復旧工事が完了し、令和2年7月31日から全町へ給水を再開した。水質管理についても調査を行った。



厚真浄化センター

快適な居住環境を確保するため、厚真市街地（139ha）に公共下水道事業を導入。厚真町全体の生活雑排水の処理、水洗化による生活環境の保全、公共用水域の水質汚濁防止をはかっている。

【事務調査】

水道事業の現状について



問 建設改良費が令和7年度以降5千万円で見込んでいくが、施設が古くなっていくに従って5千万円で足りるのか。見通しはどうか。

答 管渠の老朽管対策として、おおむね5千万円前後と考えているが、この額については前後すると考えている。

問 収支の概要の維持管理費の令和6年度の数字が令和7年度以降の数字と比較して多いようだが

理由は何か。

答 令和5年度までは人件費相当分の委託管理をしていたが、令和6年度からは電気代、薬代、それらを全て含めた試算で契約をしたのが大きな理由である。

下水道事業の現状について

問 流出水質のBOD値とSS値という数値は、どういった取り決めでなされているのか。

答 水質汚濁防止法または下水道法において、汚れについて規制がなされているので、規制値内での排水となっている。

※BOD・生物化学的酸素要求量
SS・水中にある浮遊物の量

豊沢地区森林エリア活用に向けた検討状況について

新町、豊沢、宇隆地区環境保全林で「あるものの中に溶け込む、破壊しない開発」のもと持続的

で発展的なまちづくりにつながる観光・交流拠点として活用を進める場所として位置づけられている。

【道内現地調査】

深川市有害鳥獣処理施設

処理方法は、生物処理による減容（野積み式）。木材チップと微生物（エスパス菌）を使用し制作した菌床に、捕獲した鳥獣個体を投入し分解させる。エゾシカの場合約3日間で分解する。

①投入
菌床に捕獲した鳥獣個体を投入



②ホイールローダーで菌床を切り返し



③処理終了
微生物の働きにより、鳥獣個体が有機物、炭酸ガス、窒素化合物に分解される。



委員会 レポート

北海道胆振東部地震復興特別委員会

北海道胆振東部地震復興特別委員会（伊藤富志夫委員長）は、8月6日に現地調査と事務調査を行い、その結果を令和6年第3回定例会に報告しました。



○東和川土砂災害対策

- 【現地調査】
- 1 厚真川水系直轄砂防災害関連緊急事業完成箇所
 - 2 厚真川水系直轄特定緊急砂防事業完成箇所
 - 3 災害関連緊急治山事業完成箇所



策 ○チケツペ川土砂災害対策



○桜丘地区砂防事業



○幌里地区砂防事業

【事務調査】 災害関連復旧事業について

現地調査後、事務調査で質疑応答を行う。

問 砂防堰堤において土砂が堆積してきた場合、土砂の除去を行うのは厚真町か。

答 砂防堰堤においては、土砂が堆積してきたら、ある程度の土砂の堆積とともに、北海道の方で土砂の除去の維持管理をしていく。

問 日高幌内川の関係で、砂防堰堤において他の河川と違い、上下流で2段階設置されているが、どのような機能があるか。また他の河川との違いは何か。

答 日高幌内川については、2基ということで基幹砂防堰堤（上流側にあった砂防堰堤）と下流砂防堰堤になり、上流側は河道の閉塞土塊の脚部といいますが、流れてきた

端の固定を行うことが目的で、下流側は河道閉塞箇所からの流出土砂を捕捉するため日高幌内川の基幹砂防堰堤より下流とし、流出土砂の捕捉量を満足する位置を確定して設置している。目的は、土石流の捕捉を行うため。

問 治山事業について、今まで厚真町でどのくらいの数を実施して、今後どのような予定になっているか。

答 治山事業は令和5年度までに89か所、令和6年度8か所、令和7年度は9か所を予定している。幌内、高丘、幌里、東和地区を今年度と来年度予定している。



委員会 レポート

新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会

新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会（吉岡茂樹委員長）は、8月9日に事務調査1件を行い、その結果を第3回定例会に報告しました。

【現地調査】

庁舎周辺等整備基本構想・基本計画について

事業スケジュールの変更について

基本設計が令和5年度末で出来上り、役場庁舎については、今年度実施設計のスケジュールとなっているが、設計費が非常に膨らんだことに対して、求める機能と物価上昇、これらが掛け合わさって非常に高額となったために、基本設計積算の内容について、もう少し工夫が出来ないかという認識に立って整理し、町民の皆様にしつかりとこの事業費の説明を再度出来るような資料を集めている。

今後、工事発注仕様書を作成するうえでも、中身を精査し、事業費を出る限り圧縮する方向で検討していくために作業時間がかかるため事業スケジュールの変更が生じた。

①役場庁舎について

当初（令和6年4月）提案スケジュールが、設計内容精査期間を必要としたために、全体スケジュールが、約7か月後半へずれ込み、完成引き渡しが、当初予定の令和8年12月から、令和9年7月頃に変更となる事の説明を受けた。

②文化交流施設について

当初（令和6年4月）提案スケジュールが、設計内容精査期間を必要としたために、全体スケジュールが、約11か月後半へずれ込み、完成引き渡しが、当初予定の令和9年8月から、令和10年8月頃に変更となる事の説明を受けた。

③広場・公園・道路・駐車場について

当初（令和6年4月）提案スケジュールが、設計内容精査期間を必要としたために、全体スケジュールが、約28か月後半へずれ込み、完成引き渡しが、当初予定の令和10年8月から、令和12年12

月頃に変更となる事の説明を受けた。

④概算事業費と財源内訳の変更について

当初（令和5年3月）の基本構想・基本計画では、事業費総額、約44億5700万円の内国庫補助金等を受け、町の実質負担額（一般財源＋地方債）は、約8億4900万円の予定が、令和6年基本設計時では、事業費総額、約75億2400万円、内国庫補助金等を受け、町の実質負担額（一般財源＋地方債）は、約27億900万円と当初予定額を18億6000万円の増額となる事の説明を受けた。

◎主な意見

・スケジュールを延期するということは、具体的に何をどの様に展開していくのか。
・今年の4月に提示された事業費について、物価の高騰を含めて高止まりで、下がらないとの説明があったが、慎重な事業の見直しを含めて、大事な事であり現実をとらえ

予算の縮小を含めて、きちんと説明していくことが大事である。

・今年4月の説明時にも示された建築費の増額分が、高額ではないか、コストダウンの検討は出来ないのかを尋ねたが、「将来の世代の為に、しっかりとしたものを作る。それに必要なコストだ。」と答弁されているが、今回事業費を含めて工期の変更、コストダウンのための検討などと、4月の時の考え方とどうして変化したのか。

・福祉センター大集会室の改修については、令和13年度以降のようだが、早めることはできないのか。

・令和5年3月と令和6年4月では事業費で約30億円増えている、それに伴って、特定財源、一般財源等が膨れ上がっている。問題は起債（借入金）と一般財源で町民がどれだけ負担するかが、大きな問題であり今後町民への説明を願いたい。

議会を傍聴しませんか

定例会は、毎年3月・6月・9月・12月に行われます。臨時会は、審議する案件が緊急のときなど、必要に応じて行われます。どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、定例会・臨時会とも、議会ホームページで議会の様子を生中継していますので、インターネットでもご覧いただけます。

■厚真町議会ホームページ <http://www.town.atsuma.lg.jp/gikai/>

■問い合わせ先 厚真町議会事務局 (☎ 27 - 2485)





一般質問

ここが聞きたい

出産一時金

出産一時金の支援制度について

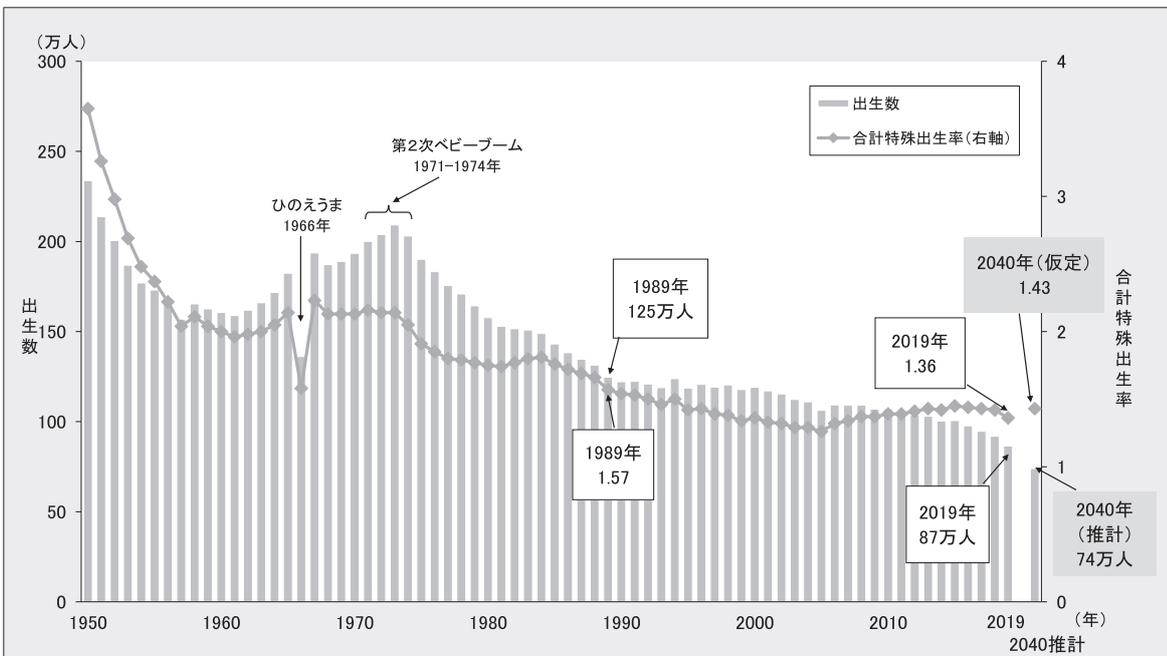
答 今後の議論をしっかりと見極める

折坂 泰宏 議員

町長 昨今の出産費用の値上がりからして、保険者が出産一時金として給付する制度の金額を、令和5年4月に42万円から50万円に引き上げられている。北海道全体の出産費用は大体46万円。これから見ると50万円の出産一時金が支払われるので十分に手当のなかに納まらないうえに、今後の医療保険給付の対象については、医療機関との議論の結論

問 出産時にかかる費用の一部が健康保険で支払われているが、昨今の出産費用の値上がり、また産科医院の減少などにより自己負担が増額するケースが見受けられる。そのような出産を控えた方々の不安や負担を解消するためにも、厚真町独自の支援制度の創設が少子化対策の一助となり、抜本的な方策として厚真町の未来に必要な不可欠であると考えるが、そのような対応についてお考えを伺う。

図表 1-1-7 出生数、合計特殊出生率の推移



をしっかりと見定めていきたい。

資料：2019年までは厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室「人口動態統計」（2019年は概数）、2040年の出生数は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」における出生中位・死亡中位仮定による推計値。

出典：「令和2年版厚生労働白書」（厚生労働省）
(https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/)

一般質問

ここが聞きたい

短時間豪雨災害

町単発でできる河川改修は出来ないか

答 やれることは徹底的にやる



橋本 豊 議員

問 8月27日胆振地方を襲った短時間豪雨で、町内においても道路の通行止めや住宅の床下浸水、河川の増水による水田の冠水、洪水など広範囲に被害をもたらした。地震の時の山腹崩壊で河川においても沢山の残土が残っている状況である。今回の雨で河川としても短時間豪雨に対する脆弱性も露見している。そこで早急に山間部地域の町単発でできる河川改修は出来ないものか。

町長 胆振東部地震の山腹崩壊で、治山事業においてものり面が完全に機能が回復するまでの途中途上である。治山事業についても早急に取り組んでいくが、流木、土砂が河川に流入させない取組を併せてやるのが恒久対策だと考えている。ただ準用河川については補助、補助採択を受けるのが非常に厳しく、事業を進めていくのは難しい状況ではあるが、単独でや

るための地方債による整備などを行っているので、やれることは徹底的にやっていく。



道路に土砂が流れ込んだ高丘地区



風力発電

事業の見直しを求めているかがか

答 地元の意見を聞いていく

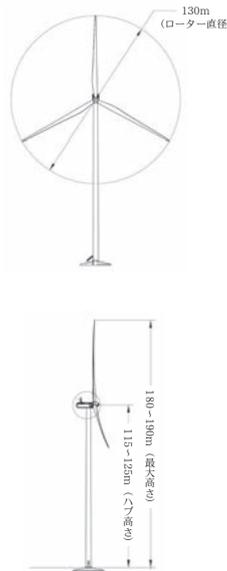
伊藤 富志夫 議員

町長 国は風力発電について方法、指針を示している。私達は、これから先、地元の意見を聞いて知事に意見をまとめ、意見交換・相談をしていく。あくまで予防的な立ち位置で対応。建ってから軽減策を講じるのは不可能と考えている。誰一人として被害者を出さないのが私の責任。条例制定については、今現在急ぐべきでない。急ぐのは住民

問 現在進められている（仮称）苫厚真風力発電事業は、町環境基本条例「町民が健康で文化的かつ快適な生活ができる」事を脅かす、不安要素が多数あり、事業の見直しを求めているかがか。一方進められた時の問題で、「風力発電施設の設置について」の条例も必要になるのではないかと。今後、町・地元・会社側との環境保全協定書の作成が必要になるが、住民の納得のいく合意づくりを求めるが、いかがか。

本事業概要について

- 対象事業実施区域 : 北海道勇払郡厚真町、苫小牧市
- 風力発電所の出力 : 34,390kW (蓄電池併設)
- 風力発電機の単機出力 : 4,300kW 程度
- 風力発電機の基数 : 10 基



との懇談、知事・道の関係機関と意思疎通を図る事。協定書は、着手する前に結ぶので、当然しっかり対応していく。

事業のスケジュール（予定）

工程	スケジュール
環境アセスメント準備書	2024年8月 ~ 2025年5月
環境アセスメント評価書	2025年5月 ~ 2025年9月頃
建設工事（見込み）	2026年3月頃~2028年3月頃
営業運転（見込み）	2028年4月 ~ 約25年間

(出典 : Daigas ガスアンドパワーソリューション (株) 2022.11.21 発行第 1 号)

一般質問

ここが聞きたい

水産業振興

担い手の確保・育成策は

答 管理型漁業の資源を守る支援継続



澤口 千里 議員

問 漁業者の高齢化に伴い、今後担い手の減少は避けられないが、町既存の「起業化支援事業」や「新規就農者対策事業」は対象外であり、技術習得や独立時に向けた資金面での支援が、新規漁業者向けに整備されていない現状があるが、今後の方策は。

町長 これまでも担い手確保の課題は共有しているが、現在新規漁業者の技術指導は現場に任せ、町としては、今後の経営安定に向け、栽培管理型漁業、ホタテ等の資源確保に向けた支援を続けていく。

ただ新規漁業者向けの施策は、現在地域おこし協力隊制度の適用が無いため、新規漁業者がいつの段階で独立に向けた経費が掛かるか等を鶴川漁業協同組合と意見交換しながら、公平性を優先しつつ、課題整理ができた段階で相談ののっていく。

物価高騰対応

既存事業の見直しを

答 要望や提案があれば前向きに検討

問 近年の物価高騰の波を受け、漁業における更新が必要な機器の価格が高くなっている現状があるが、一時借入としても重要な町の「漁業振興特別対策資金貸付事業（上限500万円以内）」の柔軟な運用を検討しては。

「ぜひほしい」という要望や提案が出れば前向きに検討していく。

町長 大規模改修に関しては「漁業近代化資金」という公的資金を使うという前提のもと、本事業の貸付は補完的な資金として手当てをしているという認識であり、実績も少ない現状。

ただ、厚真町・むかわ町双方の組合員としてまとめ、先々を見越した提案として「本事業の取扱いについて時代に合わ



洋上でベテラン漁師から技術指導を受ける新規漁業者



三國 和江 議員

一般質問

ここが聞きたい

ヤングケアラー

ヤングケアラーの状況は

答 各関係機関との連携を図っていく

町長 町内の状況については、令和2年、3年度に厚労省と文科省の連携によって、小・中学校を対象に調査がなされ、令和3年、4年度には、北海道子ども家庭支援課においても、各小・中・高の学校に対して実態調査を実施しており、本町においては該当する事案がないと報告を受けている。また、町独自に社会福祉士が学校と連携して、各関係機関との連携を図り、様々な個別問題に対応する仕組みを整えている。

町長 町内の状況については、令和2年、3年度に厚労省と文科省の連携によって、小・中学校を対象に調査がなされ、令和3年、4年度には、北海道子ども家庭支援課においても、各小・中・高の学校に対して実態調査を実施しており、本町においては該当する事案がないと報告を受けている。また、町独自に社会福祉士が学校と連携して、各関係機関との連携を図り、様々な個別問題に対応する仕組みを整えている。

問 ここ数年ヤングケアラーに関して、他町村で条例の制定やCMに放送されたり目にする機会が増えてきている。大人がやるべき家事、家族の世話を日常に行っている18歳未満の子どもたちを第三者が把握することは難しいとされているが、町内にはいるのか。また、どのような対策、指導をしていくのか。



ヤングケアラーって、実はけっこう身近なのかも

相談されたときにフツーに話せるようにヤングケアラーについて知っておきませんか？

いま中高生の約17人に1人が、ヤングケアラーとして学校生活を送っています。あなたの目の前にいる友達も、もしかしたら、わかってくれる人がいるだけで、心が軽くなる人がいます。



こども家庭庁 ヤングケアラーのこと

※令和2年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業におけるヤングケアラーの実態に関する調査結果より 世帯を有している児童がいる、と回答したのは中学2年生で57%、高校2年生で41%

一般質問

ここが聞きたい

物価高騰対策

継続支援を強く要望する

答 詳細な分析の上応急措置をする



秋永 徹 議員

問 農業生産に必要な肥料・飼料・燃油などの資材価格の高騰により営農が危ぶまれるほどの影響を受けている農業分野、同様に燃油、資材等の価格高騰の受けている林業・水産業、商工業においても強く高騰対策が求められている。肥料・飼料・燃油が令和4年又は5年に高騰ピークからやや下落しているが、令和2年から見るとまだ高止まりになっている。持続可能な産業にするために物価高騰に対する継続支援を強く要望する。

町長 物価高騰、生産費が高止まりしている状況が様々な産業に影響を及ぼしている。これまで2力年にわたって国、北海道そして厚真町も含めて物価高騰対策として、コスト面に着目して対応してきた。農産物の価格指数もそろそろ総合的に見ていかねばならない時期に来ているのではないかと正常な価格転嫁がされて

持続的な経営が出来る。業種に分けて詳細な分析をした上で物価高騰対策を応急措置をさせていただく。



町内の酪農

一般質問

ここが聞きたい



寺坂 康生 議員

商工業振興

支援事業の継続と見直しは

答 柔軟に対応していく

問 町による商工事業者への様々なサポートがあり、多くの事業者が活用し経営の安心と活力になっている。そのうちの令和7年度末までとなっている商工業経営強化促進補助金について、この事業は事業者の皆さんが期待を寄せる支援制度だが、この制度の継続とより活用しやすくするための申請要件などの見直しはできないか。またキャッシュレス決済推進事業のECサイト運用支援補助金について今後の見通しを伺いたい。

町長 政策的なものである限り期限がありその期限ごとに更新の必要があるか、新しい制度や組み合わせる必要があるかを考える必要がある。限られた予算を効果的に使う為に、制度の改正、審査や決定の仕方は柔軟に対応していく。ECサイトに関しては間もなく制度設計が完了する。実施内容により3種類の支援を用意しているが知識が必要ないよう、め不公平感が出ないように、そして厚真町を押し出していけるような仕組みにしたい。



厚真町ポイントカード

都市計画

厚真地区に宅地用区画整備を

答 事業計画を進めたい

カーボンレッジなどがあるが、商店街の利用など、様々な理由があると思うが厚真地区に家を建てたいという声も聞いている。表町ハートフルタウンや新町のパークタウンはすでに空きがない状況だが、選択肢を増やし町内経済の好循環を生む為、この厚真地区市街地近辺にも今後、宅地用の区画を整備していく考えはあるか伺いたい。

問 今現在、町内における宅地分譲地はフォーラムビレッジをはじめ厚真地区に計画中のゼロ

町長 厚真地区の市街地に空き地がないという話は我々も聞いている。新町地区に国営事業の用水路が撤去された関係で今後道路を敷きなすす中で宅地を分譲していく構想、これから着手しようとしている上厚真のゼロカーボンビレッジのような手法で、表町地区を最有力候補としてできるだけ早い時期にまとまった形で分譲できるように、また空き家の有効利用も含めて事業計画を進めていきたい。

令和5年度の行政効果と 今年の作況状況を現地視察

行政視察

7月16日、ダム湖眺望広場（幌内）、高丘ポンプ場、高丘本線擁壁、厚真町合同墓（美里）、複合型地域福祉活動拠点施設（京町）、農作物の作況状況等を確認する「町内行政視察」を行い、町内7か所を視察しました。



ダム湖眺望広場（幌内）



高丘ポンプ場（高丘）



高丘本線擁壁（高丘）



厚真町合同墓（美里）



複合型地域福祉活動拠点施設（京町）



複合型地域福祉活動拠点施設（京町）



畑作生育状況（共和）



水稻生育状況（宇隆）

北海道町村議会議員研修会レポート

氏 氏
朗 森
あきら たり
もり 森
おおし 大島
もり 森
【講師】 気象予報士
【講師】 元衆議院議長

令和6年度北海道町村議会議員研修会が7月2日札幌コンベンションセンターで開催され、全議員が出席した。

北海道町村議会議長
会長 渡部孝樹 氏

現在、町村議会が直面している議員のなり手不足は地方自治体の弱体化を招き、民主主義の根幹を揺るがすことになる。

この現状を打破する為に議員報酬の見直しや議員活動を広く理解してもらえ、環境を整備していく必要がある。さらに、少子高齢化・人口減少など課題が山積している中で町村議会の振興の為、その役割を担っていかねばならないと挨拶された。

私たち議員ひとり一人が住民から信頼されその職責を果たしていかねばならないと改めて感じた。

「札幌が東京より暑くなる!?」加速する気候変動

森 朗 氏

北海道は日本海、太平洋、オホーツク海があり様々な気候が共存する日本の中でも面白い地域である。昨年の最高気温は東京で37.7度、札幌では36.3度と日によっては東京に匹敵する気温になっており北海道もだんだんと暑くなってきた。北海道は南の湿った水蒸気が北まで流れ込みにくい状況だったが今後はわからない。最近では短時間に80mmや100mmを超える大雨が降る被害が増えている。これは気温と海水温が上昇するとこのような雨の降り方が多くなり、このような気候変動の中、農業や漁業にも影響しやすくなっている。そして問題なのは気候変動ではなく、そのスピードだ。長い人類の歴史の中、ここ数十年で急激に上昇しているこのペースがさらに加速

する可能性があり、農業や漁業、畜産として大雨による災害、さらには気温上昇による新たな伝染病など大きな影響が予想される。世界では、気候変動を抑制する特に二酸化炭素増加を減らすクリーンエネルギーへの転換など取組んでいる。今後、環境、気候、災害などに目を向け早めの対応をお願いしたいとの内容であった。大雨による災害など、過去のデータでは通用しないことも想定し、早めの対策が必要であると感じた。



「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めて」
大島 理森 氏

皆さんは、広い視野で世界の政治を見ておられると思うが、これからの地方のあり方、自分たちの町や村のあり方を考えたとき、ロシアによるウクライナ侵攻での食糧危機や、原油の価格の動向など国際環境が直接的に影響している時代にあると話され、私たち地方議員も世界や日本の動向が自分の町や住民のみならず、与える影響を真剣に考えなければならぬと感じた。

また、平成の時代は大きな変化への対応の時代であった。第一にソ連の崩壊、ベルリンの壁崩壊である。予想以上に日本に大きな影響があった。第二にバブルの崩壊だ。北海道も北海道拓殖銀行が倒産し大きな影響があった。第三に「1.57ショック」だ。平成2年6月に公表された出生率が



1.57だった。このままでは日本の人口がどんどん減ってしまう。これにどう対応するかが大きな政治課題だと問題提起があった。それ以後、そのことに日本の政治のエネルギーが集中しなかった。様々な世界情勢やバブル崩壊などの対応に集中してしまったことでの大変大きな課題に対して政治エネルギーが向けられなかったことは個人的にじくじたる思いと同時に現在も我々の大きな課題だと話された。この課題にどう立ち向かっていくか私たちもさらに危機感を持たなければいけないと改めて感じた。

議会広報研修会レポート

【講師】(一社)自治体広報広聴研究所
代表理事・広報アドバイザー

かない しげき
金井 茂樹 氏

思わず手に取りたくなる！「読者に読まれる議会報づくり」を研修してきました。

令和6年8月20日北海道町村議会議長会主催の「議会広報研修会」が札幌で開かれ、厚真町からは議会広報委員5名と事務局1名が参加した。

開会挨拶で、北海道町村議会議長会会長渡部孝樹氏(厚真町議会議長)が「町村議員の成り手不足解消のためにも、住民の関心を高める取組みのひとつである議会広報誌を、手に取って読み進めてもらえる創意工夫、更なる研鑽を期待したい」とこの研修会の開催意義を話された。

続いて、金井氏から「読者に読まれる議会報の企画と編集」というテーマで、講演と六町の「議会だより」をもとにした議会広報クリニック(評価)が行われた。

「読者を増やすためにはどうするか」という視点で、広報に載せる情報



を精査する「企画」についての講話があった。広報というコミュニケーションを通じて、「自治体(行政・議会)と住民双方の意識・行動変容を促進する」という目的意識をはっきりと持ち、「情報の量は適切であるか、質を向上させる必要があるか検討する」＝企画を変えるのが有効だとアドバイスがあった。

厚真町「議会だより」も本研修を踏まえ、今後一般質問を踏まえての追跡記事や特定の情報を深掘りするよう特集記事の作成を検討したい、と新たな知見を得た研修会であった。

定例議会・臨時議会の議決案件(賛否状況)

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥
一：議事進行する議長は採決には加わらない

除斥とは、審議案件と利害関係がある議員がいるときに公正さを保つため、該当する議員を退席させること

会議 議決日	種 類	議員名 議案名	議員名											審 査 結 果			
			澤 口 千 里	寺 坂 康 生	折 坂 泰 宏	菅 原 文 子	秋 永 徹	橋 本 豊	伊 藤 富 志 夫	高 田 芳 和	三 國 和 江	吉 岡 茂 樹	渡 部 孝 樹				
第5回臨時会7/22	議案第1号	林業専用道(規格相当)幌里チケツベ線開設工事請負契約の締結	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第2号	上厚真地区配水管布設替工事請負契約の締結	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第3号	令和6年度厚真町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第3回定例会9/17	報告第1号	所管事務調査報告(各常任委員会)	報告事項のため採決はない											報告済			
	報告第2号	委員会調査報告(各特別委員会)	報告事項のため採決はない											報告済			
	報告第3号	財政援助団体等に関する監査の結果報告	報告事項のため採決はない											報告済			
	報告第4号	定期監査の結果報告	報告事項のため採決はない											報告済			
	報告第5号	現金出納例月検査の結果報告	報告事項のため採決はない											報告済			
	報告第6号	教育委員会の事務事業の点検・評価報告	報告事項のため採決はない											報告済			

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 -：議事進行する議長は採決には加わらない

会議・議決日	種類	議員名 議案名	澤	寺	折	菅	秋	橋	伊	高	三	吉	渡	審査結果	
			口	坂	坂	原	永	本	藤	田	國	岡	部		
			千	康	泰	文	徹	豊	志	芳	和	茂	孝		
			里	生	宏	子			夫	和	江	樹	樹		
第3回定例会9/17	同意第1号	厚真町教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意決定
	同意第2号	自治功労賞表彰	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意決定
	議案第1号	厚真町いきいきサポートサロン条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第2号	厚真町国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第3号	厚真町穀類乾燥調製貯蔵施設改修工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
第3回定例会9/18	議案第4号	令和6年度町道幌内左岸線道路改良舗装工事請負契約の締結	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第5号	町道軽舞豊丘線官光橋架替工事（下部工）請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第6号	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第7号	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	承認第1号	専決処分の承認(令和6年度厚真町一般会計補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
	議案第8号	令和6年度厚真町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第9号	令和6年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第10号	令和6年度厚真町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第11号	令和6年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算(保険事業勘定補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	承認第2号	専決処分の承認(令和6年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算(介護サービス事業勘定補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
	報告第7号	令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率	報告事項のため採決はない												報告済
	認定第1号	令和5年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定	決算審査特別委員会へ付託												
	認定第2号	令和5年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	決算審査特別委員会へ付託												
	認定第3号	令和5年度厚真町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	決算審査特別委員会へ付託												
認定第4号	令和5年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	決算審査特別委員会へ付託													
認定第5号	令和5年度厚真町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	決算審査特別委員会へ付託													
認定第6号	令和5年度厚真町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	決算審査特別委員会へ付託													
意見書案第1号	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決



【7月】

- 2日 北海道町村議会議員研修会
- 3日 議会広報特別委員会
- 4日 北海道町村等監査委員協議会理事会
- 5日 福島県鏡石町議会行政視察
- 9日 町村議会の制度に関する検討委員会、全国町村議会議長会理事会、北海道、東北町村議会議長会会長・事務局長意見交換会、議会広報特別委員会
- 10日 令和6年度第1回全国豪雪地帯町村議会議長会総会、全国町村議員会館臨時理事会、全国町村議会議長会都道府県会長会
- 12日 全国要請活動、セーフティコールあつま
- 16日 議会議員町内行政視察
- 17日 苫小牧地方重点開発に関する要望
- 18日 中央実行運動（～19日）
- 22日 第5回臨時会
- 23日 令和6年度胆振総合振興局との行政懇談会、議会広報特別委員会
- 24日 財政援助団体等に関する監査
- 25日 現金出納例月検査
- 26日 備品及び財務事務に関する監査
- 29日 議会ハラスメント防止条例調査（～30日）

【8月】

- 1日 産業建設常任委員会
- 2日 三重県川越町視察（～3日）
- 5日 定期監査（学校監査）、令和5年度厚真町各会計決算審査（事前審査）

- 6日 北海道胆振東部地震復興特別委員会、産業建設常任委員会
- 7日 総務文教常任委員会
- 9日 新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会、第5回議員協議会
- 15日 全国戦没者追悼式
- 18日 第21回集まりンピック
- 20日 議会広報研修会
- 21日 令和5年度各会計決算審査（本審査）
- 22日 全国女性局合同勉強会、令和5年度厚真町健全化判断比率及び資金不足比率並びに関係書類審査
- 23日 厚真町戦没者追悼式、現金出納例月検査
- 26日 産業建設常任委員会道内行政視察
- 27日 自由民主党総務部会関係合同会議

【9月】

- 1日 さっぽろ厚真会第34回定期総会・懇親会
- 3日 厚真町6団体視察研修
- 6日 北海道胆振東部地震黙とう、9・6胆振東部地震犠牲者七回忌追悼法要
- 7日 北海道胆振東部地震厚真町追悼式
- 11日 議会運営委員会
- 15日 厚真神社宵宮祭
- 16日 厚真神社秋季例大祭
- 17日 第3回定例会（～18日）
- 18日 第6回議員協議会、議会広報特別委員会
- 19日 厚真町敬老会
- 20日 セーフティコールあつま
- 22日 令和6年度聖月流日本吟剣詩舞道会厚真支部審査発表会
- 24日 令和6年度四国四県町村長・議長大会
- 25日 愛媛県砥部町視察、現金出納例月検査
- 26日 香川県直島町視察
- 27日 第6回臨時会、全国町村議会議長会会務運営協議、苫小牧厚真会総会・懇親会

スポーツ少年団紹介

上厚真バドミントンスポーツ少年団

紹介者：丹羽 智大さん

私たちは、町内の小中学生と競技レベルの向上を目指し、日々、練習を行っています。活動は10年を超え、卒団し高校生や社会人となった先輩たちも時々顔を出してくれ、選手の指導にあたってくれています。

「バドミントン」という競技を通じて、スポーツの楽しさや目標に向かって努力する姿勢、礼儀やマナーといった人間力にも磨きをかけていきたいと思っています。

練習の見学は随時受け入れておりますので、やってみたいと思った方は、お気軽にご連絡ください。



- ◆ 2011年設立
- ◆ 代表者 中川 貴之さん
- ◆ 活動日 月曜日・木曜日
(18:00～20:30)
- ◆ 活動場所 厚南中学校体育館
- ◆ 連絡先 工藤元子さん
090-2059-4795